



広報



七夕まつりキャラクター「たっ(けー☆☆)」



FUSSA

平成23年(2011年)

9月1日 No. 838

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

▼福生市9月の主なイベント▼

3日(土)・4日(日)	輝きhands to hands2011
10日(土)	サロンコンサート
11日(日)	敬老大会
23日(祝)	地域自治体連携シンポジウム

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面5市市長が語る地域自治体連携シンポジウム 3面次世代モビリティ活用モデル事業を展開していきます
5面敬老金・記念品を贈呈します 6面南公園をご利用の方にお祝い 7面“本は友だち”応援隊養成講座参加者募集

市内での放射線量 簡易測定結果について

東京都から貸与された放射線量測定器を使用し、6月29日から市内の施設で測定を行ないました(土が露出している場所で地表から5cmと1mの2点で測定)。その結果をお知らせします。

今後の測定結果もホームページ等でお知らせします。

問合せ環境課環境係 ☎551・1718

【結果】すべての測定地点で、年間1ミリシーベルトを下回っていました(右表参照)。

※測定器の性能上、測定結果がやや高く出ることがあります(測定誤差は最大で±30%あります)。

※この測定結果には自然放射線も含まれます。2007年の国際放射線防護委員会の勧告では、一般人に対する放射線量の平常時の指標を、年間1ミリシーベルト以下としています。

【シーベルト(Sv)とは】人体が放射線を受けたとき、その影響の度合いを表す目安となる放射線量のことです。

【ベクレル(Bq)とは】放射性物質から出される放射能の強さを表します。

■福生市役所丘の広場での定点測定結果について

市内の施設で簡易測定をしている機器を使用し、市役所丘の広場を定点として、2週間ごとに測定を行なっています。(下表参照)

測定日	地表面5cm	地上1m
8月4日	0.08	0.07
8月17日	0.07	0.07

(単位 μSv)

【結果】年間1ミリシーベルトを下回っていました。



市内各施設での放射線測定結果(単位 μSv)

測定日	測定場所	地表面5cm	地上1m
小・中学校			
8月8日	第一小学校	0.03	0.05
8月8日	第二小学校	0.04	0.05
8月9日	第三小学校	0.05	0.07
8月8日	第四小学校	0.04	0.06
8月9日	第五小学校	0.06	0.07
8月8日	第六小学校	0.05	0.06
8月9日	第七小学校	0.05	0.06
8月9日	第一中学校	0.05	0.04
8月8日	第二中学校	0.06	0.07
8月9日	第三中学校	0.06	0.06
保育園・幼稚園			
6月29日	すみれ保育園	0.08	0.08
6月30日	福生本町保育園	0.07	0.07
6月30日	福生保育園	0.08	0.09
6月30日	福生多摩幼稚園	0.07	0.06
6月30日	弥生保育園	0.06	0.08
6月30日	加美平保育園	0.05	0.06
7月1日	福生杉ノ子保育園	0.06	0.04
7月1日	杉ノ子第二保育園	0.06	0.07
7月1日	杉ノ子第三保育園	0.07	0.07
7月1日	熊川保育園	0.08	0.09
7月1日	わらべつくし保育園	0.06	0.07
7月1日	牛浜幼稚園	0.06	0.07
7月1日	聖愛幼稚園	0.09	0.09
7月12日	若葉保育園	0.07	0.07
7月12日	清岩院幼稚園	0.08	0.08
7月25日	東福保育園	0.08	0.07
公民館・児童館等			
7月2日	白梅会館	0.09	0.10
7月6日	保健センター	0.09	0.09
7月12日	田園児童館	0.05	0.08
7月12日	熊川児童館	0.06	0.07
7月12日	武蔵野台児童館	0.06	0.08
公園等			
6月23日	福東グラウンド	0.07	0.07
6月23日	南公園	0.09	0.09
6月23日	市営競技場	0.06	0.08
6月23日	自由広場	0.05	0.07
6月23日	加美平球場	0.08	0.06

7月の横田基地飛行回数(追補版)			問合せ環境課環境係
測定場所	熊川1571番地誘導灯付近		※落雷等の自然現象による電源停止のため、7月31日午前0時14分ごろからデータについては計測ができませんでした。ご理解いただけますようお願いいたします。
	飛行回数	前年同月比	
飛行総数	549	-265	
昼間(午前7時~午後7時)	456	-142	
夕刻(午後7時~10時)	66	-140	
夜間(午後10時~午前7時)	27	17	
最高音圧レベル(デシベル)	116	2	

鳥の目で街を俯瞰し、
バーチャル空間で
将来の街を見る

先日、お招きいただいた六本木ヒルズの森ビル株式会社を訪ねました。この何年かは、都内に出るのには仕事の関係で都庁や国会周辺の各省庁、議員会館に限られており、六本木ヒルズも初めてというおのほりさんです。

まず見学したのは東京とニューヨークをそれぞれ1,000分の1にした都市模型。この都市模型は、地形やビルの外観も忠実に再現している精巧かつ巨大なものです。都市を俯瞰することで、交通のあり方や緑の配置、まちの有り様など、マクロに全体を捉えて考えるため作成したとのこと。

次に拝見したのは、都市模型製作のノウハウから生まれた都市のバーチャル空間です。ビルの高さが変わるとどうなるのか。アーケードの有無でどうなるのか。景色が変わるのか。ビルの壁面は、路面の色は…など、現実の街がどのように変わるのかが可視化されています。都市のデザインは地図をも変えるやり直しができない大仕事です。将来の街の姿を目で確認しながら進められる素晴らしい技術です。

今後のまちづくりや、都市のデザインを論じる時には欠かせないものだと感じました。

全力投球



福生七まつりにて

